

渋谷区部活動地域展開事業の概要と加盟団体の協力について

1 経過・現状

(1)令和2年9月、文部科学省・スポーツ庁は、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革として、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革を目指し、具体的方策として、「休日の部活動の段階的な地域移行(令和5年度以降、段階的に実施)」を提示。

[部活動改革ポータルサイト～学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行\(地域移行\)に向けて～:スポーツ庁](#)



(2)①渋谷区は令和3年10月に、シブヤ部活動改革プロジェクトの推進団体として「一般社団法人渋谷ユナイテッド」を設立。11月からは中学校の部活動には「なかった」、「やりたい」を実現する新しいクラブとして、9種目のユナイテッドクラブを開始。以降、ニーズに合わせて種目を選定し、令和7年度はサッカー、ダンス、ボッチャ、フェンシング、ボウリング、eスポーツ、ストリートスポーツ、将棋、料理・スイーツマスター、アニメ・声優、デジタルクリエイティブの11クラブを実施。



②令和5年6月からは区立中学校全8校のうち、代々木中学校・原宿外苑中学校の2校を部活動地域移行の「推進モデル校」として指定。専門的な経験等を持つ運動部の指導者(ユナイテッドコーチ)を平日・休日に配置するとともに、学校、保護者、指導者等をつなぎ、様々な運営業務を行うマネジメント人財(クラブマネージャー)を配置。令和6年度には広尾中学校・松濤中学校、令和7年度には鉢山中学校・上原中学校を加え、令和8年度には笹塚中学校・渋谷本町学園中学校に配置予定で、全校での部活動地域展開を推進していきます。

③令和6年4月には「一般財団法人渋谷区スポーツ協会」を設立し、事業を継承。旧渋谷区体育協会が担ってきた各加盟団体との連携強化、ジュニア育成事業を含む多世代にわたるスポーツ振興事業との連携を加え、中学生年代に留まらない生涯スポーツとしての部活動の在り方とともに、地域と連携した推進体制(地域クラブ化)を目指しています。

[部活動改革プロジェクト - 一般財団法人 渋谷区スポーツ協会](#)



2 今後の方向性

(1)令和7年5月、スポーツ庁では、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが部活動改革の主目的で、

・学校単位で部活動として行われてきた活動を地域全体で連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を地域クラブ活動として保障。

・地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。としており、

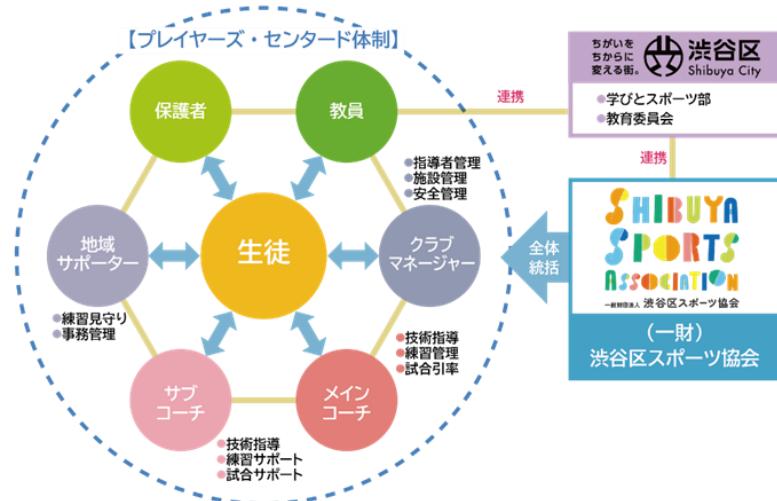
上記の理念等をより的確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更しました。今後の改革の方向性として、地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、地域の実情等にあった方針を決定することとしました。

[「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ:スポーツ庁](#)

(2)①渋谷区では現在、「シブヤ部活動改革プロジェクト推進検討委員会」を設置し、これまでの成果や課題等渋谷区の実情を踏まえて、今後の方向性を検討しています。スポーツ協会ではその方向性に沿って部活動地域展開を進めていますが、子供たちが生涯にわたって継続的に一人ひとりの興味・関心に応じたスポーツや文化芸術活動に親しむことができるよう、地域の人的・物的資源を活用しながら、地域全体での支援体制を整えていきたいと考えています。

②そのため、地域クラブ活動の支援体制として、これまで各校に配置してきたユナイテッドコーチ、クラブマネージャーに加え、多様な人財の関わりによって、学校や地域とつなぎ、子供たちがより広がりを持ち主体的な活動となるよう支援していきます。

③具体的には日本スポーツ協会が示す「プレーヤーズ・センタード」を参考にして、生徒を中心とした多様な人財が関わる体制づくり(下図参照)を進めています。今後、活動の見守りを担う地域サポートの配置、クラブマネージャーにはクラブ運営に加え、様々な関係者間との連携・調整を行っていきます。この体制によって、地域のスポーツ団体、企業や大学等の活動とつなげ、部活動改革を通じて、地域コミュニティとして新たな広がりや価値の創出を目指していきます。



3 加盟団体のご協力ご参画により、生涯スポーツ・地域コミュニティの広がり！

①渋谷区の部活動は大きな転換期を迎えています。同時に、生活スタイルの変化等による子供たちの運動離れ、受験等によるスポーツからの早期離れ、各種競技人口の縮小などスポーツを取り巻く状況の変化も進んでいます。

②加盟団体の皆様にもこうした課題の解決や将来へ向けた取組に、可能な範囲でご協力ご参画いただきたいと考えています。各団体でのご検討をどうぞよろしくお願ひします。

一例として、

- ・競技団体…メインコーチやサブコーチとしての参画、ジュニア育成事業との連携、大会運営への相互協力、種目普及への連携事業等
 - ・地区体育会…地域サポートとしての参画、地域での応援や広報活動等
 - ・スポーツ少年団…地域サポートとしての参画、各団活動との連携等
- ③スポーツ協会では、今後「コーチミーティング」として、加盟団体とユナイテッドコーチとの情報共有や意見交換の機会を設けていく予定です。